

リーディングDXスクール事業【実践事例】

神戸市立須磨北中学校（神戸市）【指定校】

【取組内容】 ②情報活用能力の育成

本校では、情報活用能力の育成に関連した取り組みを意識的に行っている。これらの取り組みを継続して、生徒一人ひとりの情報活用能力の育成を図り、これからの情報社会に対応できる力を育んでいきたい。

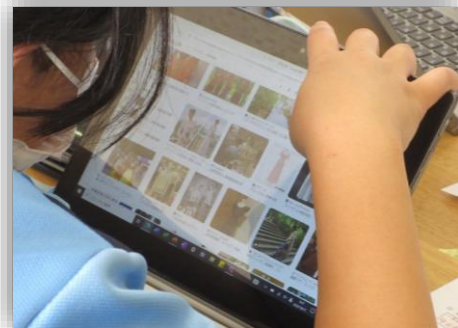
「知識および技能」の育成

情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能

- ・キーボードによる入力（例）Forms、OneNote等を活用した振り返り
- ・写真撮影、画像編集(トリミング等)（例）必要な情報をOneNote、PowerPoint等にまとめる

インターネット上の情報の閲覧・検索

- ・妥当性や信頼性を吟味しつつ、自分の必要な情報を得る力
（例）調べ学習や資料の活用を通したインターネット上の情報の検索



「思考力、判断力、表現力等」の育成

必要な情報を収集、整理、分析、表現する力

- ・情報収集、整理：情報を収集し、Excel等を活用して情報を整理・分析する力
（例）気象データからExcelで図式化・グラフ化（情報を整理）して、根拠に基づいて天気の前測（分析）を行う（理科）
- ・情報の表現：プレゼンテーションや意見交換を通じて、情報を効果的に表現し伝える力
（例）観光ツアーのプランニングをプレゼンテーション（社会科）



「学びに向かう力、人間性等」の涵養

多角的に情報を検討しようとする態度

- ・新たな視点を受け入れて検討しようとする：OneNote等による共同編集・他者参照を通して、様々な見方や感じ方を学び、異なる価値観を知る
（例）絵画の鑑賞（美術科）、図形の角度を求める問題（数学科）など

責任をもって適切に情報を扱おうとする態度

- ・情報の大切さ：情報の発信ややりとりにおけるルールやマナーを学ぶ
（例）クラウド上での意見交換など共同編集にあたって、他者及び他の班が作成したデータを大切に扱う（全教科）

